

詳細については、9 月上旬に本会議録が製本されますので、市のホームページ、市役所情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。

総務文教委員会

主な審査内容

●市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について



国が国家公務員の給与減額と同様に、地方公務員も給与削減措置をとることを前提として地方交付税を算定することとしたため、市は、市民サービスの低下にならないよう職員の給与を減額することにした。(平成 25 年 7 月分から平成 26 年 3 月分まで) 給与月額の減額率は、市長 15% (現行 12%)、副市長 10% (現行 8%)、教育長 8% (現行 7%)、課長級以上 7% (現行 3%)、課長補佐、係長級、主任主事等 5%、主事 3%

Q 職員一人当たりの平均給与カット額はいくらかになるのか問う。

A 年収ベースで職員一人当たり約 15 万円の影響がある。

Q 市民自治を進める中、総じて仕事量が増えてくる。職員のモチベーション維持について考えを問う。

A モチベーションについては配慮が必要。職場の中では管理職と職員とが議論をしながら、心を一つにして進めていきたい。今回の状況は不本意であるが、こういう判断をせざるを得なかったということである。

Q 地域の主体性が求められる中、ファシリテーター(※)たる職員の役割は極めて重要。これまで独自の給与カット、職員数の削減など職員の努力・貢献度は財政面から見ても大きいものがある。やむを得ず議案が提出されたと思うが、職員の使命、役割などは計り知れない。行政の役割、責任などについての考えを問う。

A 職員は市民の皆様方のために尽くし、全体の奉仕をすることを約束して職につく。仕事のモチベーションは使命感からくるという。

うことである。市民の皆様の生活と幸せを守ろうと、努力を日々していることに、ご理解頂きたい。

※採決の結果、

原案のとおり可決

生活環境委員会

主な審査内容

●市道路線の

廃止及び認定について



油見トンネルの開通により、みどり橋西詰交差点から両国橋までの間を市道として認定するもの(みどり橋西詰交差点から大竹駅前交差点までは県道と重複認定)

Q 元町三丁目から木野についての旧国道 186 号線は側溝がないところもあり、民家に雨水が流れ込む状況にある。対策はどのように考えるか。

A 市道の側溝改良等を、低地の方から行う。改善を図っていききたい。



両国橋



みどり橋西詰交差点

※採決の結果、 原案のとおり可決

本会議での採決の結果
すべて原案のとおり可決